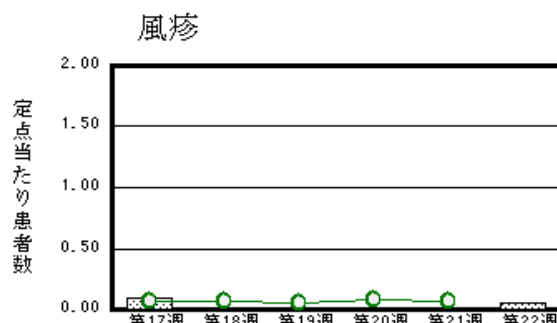
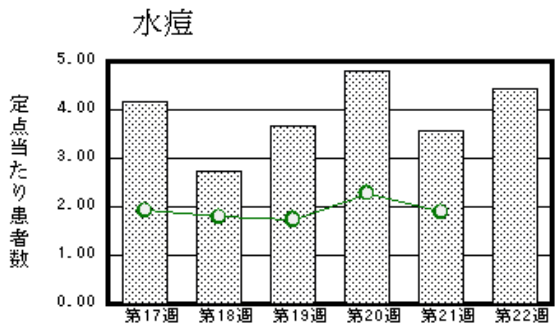
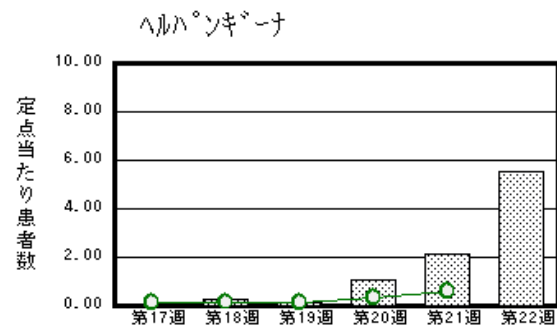
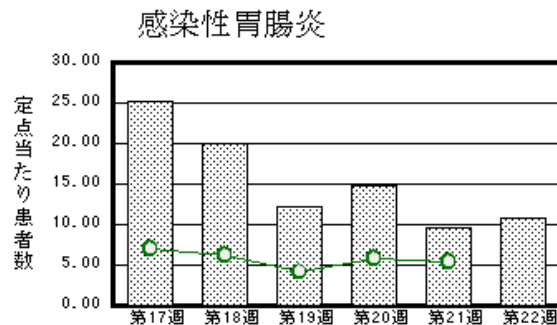


福井県感染症発生動向調査速報 <<平成16年>>

発行日：平成16年6月1日
 <週報> 第22週 (平成16年5月24日～5月30日) 発行：福井県福祉環境部健康増進課
 福井県衛生環境研究センター
 kansen@erc.pref.fukui.jp

注目疾患の動向

1. 【今週の上位5疾患】 感染性胃腸炎237名(10.77名) ヘルパンギーナ122名(5.55名) 水痘98名(4.45名) 咽頭結膜熱61名(2.77名) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎41名(1.86名) ()内は定点当たり人数
2. 【報告数の多い疾患】 感染性胃腸炎(237名) ヘルパンギーナ(122名) 水痘(98名) 咽頭結膜熱(61名) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(41名)
3. 【感染性胃腸炎】報告数は237名です。定点あたり患者報告数は増加しました。(9.62名 10.77名)地域別にみると福井地区21.0名、丹南地区8.6名、坂井地区は6.7名となっています。
4. 【ヘルパンギーナ】報告数は122名です。定点あたり患者報告数は増加しました。(2.14名 5.55名)。丹南地区で定点あたり12.2名と県内トップとなっており、続く二州地区7.7名、坂井地区4.7名となっています。
5. 【水痘】報告数は98名です。定点あたり患者報告数は増加しました。(3.57名 4.45名)丹南地区で定点あたり6.0名、若狭地区で5.5名、二州地区で5.3名となっています。
6. 【咽頭結膜熱】報告数は61名です。定点あたり患者報告数は増加しました。(1.10名 2.77名)。奥越地区6.5名、福井地区4.4名、坂井地区3.7名となっています。



棒グラフは福井県、折れ線グラフは全国の数値を表しています。
 各疾患の動向グラフについては福井県感染症情報のホームページをご覧ください。

感染症週報全国版の要点

2004年第20週号(5月10日～5月16日)要点

発生動向総覧	<第20週> 咽頭結膜熱・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎・風しん-定点あたり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比べてかなり多い/その他最新動向<4月> 性感染症・薬剤耐性菌感染症・結核について
注目すべき感染症	<風しんおよび先天性風しん症候群> 社会全体での風しんそのものを抑制することが必要であり、小児から成人まで、男女ともに免疫のない人々は定期接種、任意接種を受けることが強く望まれる
病原体情報	ヒトから検出されたVero毒素産生性大腸菌 2004年/無菌性髄膜炎患者から検出されているウイルス 2004年/インフルエンザウイルス 2004年第17週(4/19～)以降
速報	<通知> 平成16年度インフルエンザHAワクチン製造株の決定について/集団かぜからのB型インフルエンザウイルスの分離-名古屋市/福岡市における風しんの流行状況とその対策
海外感染症情報	スーダン南部でのエボラ出血熱流行/中国でのSARS流行-更新7
感染症の話	<今週はお休みさせていただきます>

詳細は国立感染症研究所感染症情報センターのホームページをご覧ください。 <http://www.idsc.nih.go.jp>

全数届出の感染症(福井県)

疾病名	腸管出血性大腸菌感染症(3類感染症)	
患者	男児 1名	
主な症状	下痢	
感染原因・感染経路	調査中	
平成15年同時期届出累計	8人(全国累計216人)第22週	
平成16年	福井県	有症者8人、無症者3人(第22週:5月30日現在)
	全国	330人(第20週:5月16日現在)

福井県感染症発生動向調査

[定点報告: 5類感染症(週報分)] 平成16年 第22週 平成16年5月24日(月)～平成16年5月30日(日)

定点種別 (定点数)	保健所 病名	福井	坂井	二州	若狭	奥越	丹南	計	前週	全国(21週)
小児科 (22)	インフルエンザ (高病原性鳥インフルエンザを除く) (32)									238 0.05
	RSウイルス感染症									15 (20週)
	咽頭結膜熱	31 4.43	11 3.67			13 6.5	6 1.2	61 2.77	23 1.1	1296 0.43
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	15 2.14	3 1.00	1 0.33		10 5	12 2.4	41 1.86	42 2	6192 2.04
	感染性胃腸炎	147 21.00	20 6.67	15 5	1 0.5	11 5.5	43 8.6	237 10.77	202 9.62	16558 5.44
	水痘	28 4.00	5 1.67	16 5.33	11 5.5	8 4	30 6	98 4.45	75 3.57	5742 1.89
	手足口病	4 0.57					4 0.8	8 0.36	7 0.33	639 0.21
	伝染性紅斑	5 0.71		1 0.33		3 1.5	10 2	19 0.86	17 0.81	1671 0.55
	突発性発しん	2 0.29		2 0.67		2 1	6 1.2	12 0.55	14 0.67	2360 0.78
	百日咳	1 0.14						1 0.05	1 0.05	55 0.02
	風しん	1 0.14						1 0.05		220 0.07
	ヘルパンギーナ	21 3.00	14 4.67	23 7.67		3 1.5	61 12.2	122 5.55	45 2.14	1782 0.59
	麻しん(成人麻しんを除く)									68 0.02
流行性耳下腺炎	2 0.29	2 0.67	19 6.33		7 3.5	2 0.4	32 1.45	10 0.48	2484 0.82	
眼科 (3)	急性出血性結膜炎									11 0.02
	流行性角結膜炎								1 0.5	545 0.86
基幹 (6)	細菌性髄膜炎									9 0.02
	無菌性髄膜炎									11 0.02
	マイコプラズマ肺炎									104 0.22
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)									7 0.01
	成人麻しん									0

インフルエンザは、小児科定点+内科定点

細字は定点当たり患者数

(注) 印は、平成15年11月5日以降届出対象疾患。全国の集計は第20週分である。

福井県感染症発生動向調査(定点報告:5類感染症)

平成16年第22週 平成16年5月24日(月)～平成16年5月30日(日)

インフルエンザ 定点	インフルエンザ(高病原性 鳥インフル エンザを除く)	小児科 定点	RSウ イルス 感染症	咽頭結 膜熱	A群溶 血性レ ンサ球 菌咽頭 炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	風しん	ヘルパ ンギー ナ	麻しん (成人 麻しん を除く)	流行性 耳下腺 炎	眼科・基幹 定点	急性出血 性結膜炎	流行性角 結膜炎	細菌性髄 膜炎	無菌性髄 膜炎	マイコプラ ズマ肺炎	クラミジア 肺炎(オウ ム病を除 く)	成人麻し ん	
6ヶ月未満		6ヶ月未満				5	6			1			2			6ヶ月未満								
12ヶ月未満		12ヶ月未満		2		14	11		1	8			8			12ヶ月未満								
1歳		1歳		9	1	43	23	2	1	3		1	37	2	1歳									
2歳		2歳		14	5	36	19	2	3		1		44	1	2歳									
3歳		3歳		11	5	29	23		6				14	4	3歳									
4歳		4歳		7	6	21	5	2	3				6	5	4歳									
5歳		5歳		4	8	16	7		2				5	8	5歳									
6歳		6歳		4	2	16	1		1				3	5	6歳									
7歳		7歳		2	6	9	2	1	1				2	4	7歳									
8歳		8歳		2	3	7			1				1	1	8歳									
9歳		9歳			1	12		1						1	9歳									
10～14歳		10～14歳		2	4	15									10～14歳									
15～19歳		15～19歳				10									15～19歳									
20～29歳		20歳以上		4		4	1							1	20～29歳									
30～39歳															30～39歳									
40～49歳															40～49歳									
50～59歳															50～59歳									
60～69歳															60～69歳									
70～79歳															70歳以上									
80歳以上																								
合計		合計	0	61	41	237	98	8	19	12	1	1	122	32	合計									
前期計		前期計	0	23	42	202	75	7	17	14	1		45	10	前期計		1							
当期間/前期	***	当期間/前期		2.65	0.98	1.17	1.31	1.14	1.12	0.86	1	***	2.71	***	3.2	当期間/前期	***	0	***	***	***	***	***	***
増減数		増減数		38	-1	35	23	1	2	-2		1	77	22	増減数		-1							

(注) 印は、平成15年11月5日以降届出対象疾患

***は前期計が"0"のとき

